

検印

第●学年●組 英語科 学習指導案

令和●年●月●日 (●) 第●校時
授業者 教諭 ●●●●

1 単元名 TOTAL ENGLISH 3 Lesson 3 E-mails from Alaska and India

2 単元の目標

ALT をトーク番組のゲストに迎えた設定で、ALT のこれまでや現在について、会話の流れを踏まえながらグループで協力してインタビューをすることができる。(思考・判断・表現)

3 単元について

(1) 教材観

本課では夏休みを利用してベンがアラスカのおじさんを、ミクはインドに住むシーマのおばあさんを訪問する。現地での会話やEメールを素材として、文化による慣習の違いなどについて考える内容となっている。ターゲットとなる言語材料は現在完了の継続用法と経験用法である。現在とのつながりについて考えながら、意味を捉える機会としたい。

(2) 生徒観

生徒はこれまででこの名詞句を捉える練習に取り組んできており、少しずつ英文の構造を理解しながら音読したり、暗唱したりできるようになってきている。家庭学習向けの作文ワークシートでも、多くの生徒が間違いを恐れずに自分の言葉で英語を書こうとしている姿が見られる。一方で即興的な会話にはまだ課題が残るので、練習する機会を授業の中に継続的に設定していきたい。

(3) 指導観

生徒がスムーズに即興会話を展開できない背景には、基本的な会話の 패턴の蓄積が十分ではないという現状もある。教科書を通して様々な会話文に触れ、反復的な音読練習から、役割演技的に感情を込めながら英文を音読する練習に取り組み、単元末のタスクであるグループでのインタビュー活動の指導につなげたい。

4 指導の課程

(1) 指導計画 (10時間扱い)

1	Lesson 3 の導入 現在完了 (継続) の導入	6	Lesson 3C 読解・音読
2	Lesson 3A の読解・音読	7	It is ~for ~to- の導入・練習
3	How long + 現在完了の導入・練習	8	Lesson 3D の読解
4	Lesson 3B の読解・音読	9	Lesson 3 のまとめ・インタビュー準備
5	現在完了 (経験) の導入・練習	10(本時)	タスク「ALT にインタビュー」

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	対話の要点をつかむことができる。		
読むこと	メールの概要をつかむことができる。		
話すこと [やり取り]		会話の流れを踏まえながら、ALT にインタビューできる。	仲間と協力して ALT にインタビューしようとしている。
話すこと [発表]		ミクになりきって、インドでの体験をプレゼンできる。	ミクになりきって、プレゼンをしようとしている。
書くこと	現在完了の構造を理解している。経験を伝える文が書ける。		

コメントの追加 [奥住 桂1]: ここには科目名が入るので、高校の場合は「英語コミュニケーション I 学習指導案」などになります。

コメントの追加 [奥住 桂2]: 3つの観点すべてについて目標を書くこともありますが、4(2)の評価規準と重複するので、この単元で最終的に取り組む予定のタスクをベースに「思考・判断・表現」の項目だけ書いておくのがわかりやすいと思います。

コメントの追加 [奥住 桂3]: 「教材観」では、その単元のトピックや新たに学習する文法事項などを紹介する。

コメントの追加 [奥住 桂4]: 「生徒観」は、対象の生徒たちがこれまでどのような学習に取り組んできたか、どんなことが得意(苦手)か、という特徴を記載する。

コメントの追加 [奥住 桂5]: この「教材」をこの「生徒」たちにどう教えるか、この単元を通してどんな力をつけたいかという教師の長期的な見通しを書く。

コメントの追加 [奥住 桂6]: 1つの単元の中で、すべての項目を評価することは無理なので、空欄も存在します。

可能であれば、1つの単元の中で「聞くこと」から「書くこと」まですべての技能が扱えたらよいですが、単元によっては網羅することが難しいこともあります。

(3) 本時の目標

ALT をトーク番組のゲストに迎えた設定で、番組の MC として英語でインタビューをしよう！

(4) 本時の評価規準

○ALT のこれまでや現在について、会話の流れを踏まえながらグループで協力してインタビューをすることができる。【思考・判断・表現】

○会話の流れを踏まえながら、グループで協力してインタビューをしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(5) 本時の展開

過程	学習内容および生徒の活動	指導上の留意点 (◇)、および評価の基準 (○)	備考
導入 10分	<p>●あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT の話を聞く ・本時のミッションを確認し、記入する。 <p>●英語の歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・"I want you back"を歌う <p>●単語テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語テストに取り組み、各自で答え合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT は近況などを自然な英語で話す。 ・本時の学習内容と目標を示す。 <p>◇毎回少しずつ問題量を増やししながら、同じ問題に何度も取り組ませる。</p>	<p>評価用紙</p> <p>テスト用紙</p>
展開 ① 10分	<p>●プレタスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT と JTE のモデル会話を聞く ・会話の要点をつかむ ・グループ内リハーサル ・想定問答集の確認をする 	<p>◇写真などを用いながら、わかりやすく話す。</p> <p>◇個人の練習時間を確保する。</p>	
展開 ② 25分	<p>●ALT にインタビュー！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 班 5 分でインタビュー番組を放送する ・次の班が計時と音響と録画を担当する 	<p>○会話の流れを踏まえながらグループで協力してインタビューをすることができる。【思考・判断・表現】 / インタビューをしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>《評価基準》(教師による観察)</p> <p>a : 前の質問への答えを受けて、関連する質問ができています。</p> <p>b : 会話が不自然に途切れずにインタビューが継続できている</p>	
まとめ 5分	<p>●本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番おもしろかった MC に投票する ・本時の活動をふりかえる。 ・JTE のアドバイスを聞く ・ミッションカードに記入する。 <p>●あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語であいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最多得票班を表彰する <p>◇特に前の質問を受けての質問ができていた場面を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に対する到達度を確認する。 ・次時の学習内容を連絡する。 	<p>評価用紙</p>

コメントの追加 [奥住 桂]: 決まりはありませんが、生徒の活動は生徒を主語にした文で書き、右側の留意点は教師を主語にして書くとうわかりやすいです。

コメントの追加 [奥住 桂]: 本時の目標について評価の b 基準と a 基準を示しておく。評価方法も書いておく。

※備考 生徒数 男子13人 女子15人 合計28人